

NO. 3	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	6	新井田 昭 男	
<p>1. 緊急通報器具貸与事業並びに緊急通報情報事業について</p> <p>去る2月18日に開催された総務・経済常任委員会において、第8期木古内町老人福祉計画・介護保険事業計画（素案）が示されました。</p> <p>この計画では、多岐にわたる福祉計画が盛り込まれ、関係機関との連携の中、我が町の福祉向上のため、ご尽力いただいていることに改めて敬意を表するところです。</p> <p>この計画の中に第7期の計画実施状況が記載されており、その中で緊急通報器具貸与事業並びに緊急通報情報事業の実績が明記されております。</p> <p>今後、明確に後期高齢者や一人住まいの方の増加が見込まれる状況で、「ひとりの不幸も見逃さない」ためにも、この両事業を展開することによる成果が大いに期待されると強く感じています。</p> <p>当町においては、すでに後期高齢社会という課題に直面しており、地域住民の安心を確保するために、両事業への更なる公助と、地域を巻き込んだ共助は必要不可欠と考えます。</p> <p>以上のような観点から、下記の3点について町長に伺います。</p> <p>(1) 「地域包括ケアシステム」の深化・推進はあるものの、在宅での更なる安心を確保するため、緊急通報器具貸与事業での通報機器利用者の増加に対する取り組みについて</p> <p>(2) 緊急通報情報事業は、緊急時に消防署・警察署が連絡先や病名等の情報によるしっかりとした対応としておりますが、今後を見据え、情報登録者数の増加に対する取り組みについて</p> <p>(3) 我が町で、「ひとりの不幸も見逃さない」ため、公助の考えと、地域を巻き込んだ共助の考えについて</p>			町 長

